

浪江町復興ビジョン検討会議
中間報告書
概要版

平成28年12月19日

I. 10年後に目指す未来・将来ビジョン

1. 安心・安全が確保されているまち
2. 活気あふれるまち
3. 様々な人が町外から訪れるまち

II. 4つのチャレンジ

1. 「安全・安心」チャレンジ

- (1) 鳥獣対策
- (2) 防災・防犯
- (3) 生活関連サービス
 - ①公共交通
 - ②買物環境
- (4) 森林河川等の保全・再生

2. 「エネルギー地産地消」チャレンジ

- (1) スマートコミュニティ
- (2) 水素エネルギー
- (3) 森林資源
- (4) 国内外への発信

3. 「新たなまちづくり」チャレンジ

- (1) 新しい農業
- (2) 生活関連サービス
 - ①公共交通
 - ②買物環境
- (4) 水中ロボット
- (5) 人材育成
- (6) ロボット産業

4. 「発信・交流」チャレンジ

III. チャレンジの基盤となる地域

1. ロボットテストフィールド滑走路及び周辺エリア
2. 復興祈念公園周辺エリア
3. 中心市街地エリア
4. 田畑・森林エリア

IV. フォローアップの枠組

1. 本中間報告書を基に、関係者が緊密に連携して取組を進める
2. 避難指示解除後も継続開催し、将来ビジョンの実現を目指してフォローアップを実施

1. 会議の設立趣旨

- 浪江町は、平成29年3月の避難指示解除に向けて、除染・インフラ復旧等の復興に向けた取組が進捗。
- 本年4月に、ロボットテストフィールドの無人航空機用滑走路の立地が決定。

➡ **さらなる復興に向けて、国・県・民間等の知見を結集し、未来への目標として、浪江町の発展的な将来像・魅力あるビジョンを策定。**

2. 現状の構想における地域の目指す姿

(1) 浪江町第二次復興計画 中間取りまとめ案 (平成28年11月) における目標設定

- ① 先人から受け継ぎ・次世代へ引き継ぐ「ふるさと」浪江を再生する
- ② 被災経験からの災害対策を次世代に生かす
- ③ どこに住んでいてもすべての町民の暮らしを再建する

(2) 福島・国際研究産業都市 (イノベーション・コースト) 構想

(3) 福島新エネ社会構想

➡ **「浪江町第二次復興計画」の目標設定を十分に尊重しつつ、3つの構想を密接に連携させた取組を進めていき、その目指す先にある浪江町の未来・将来ビジョンを提示。**

3. 浪江町を目指す未来・将来ビジョン

(1) 安全・安心が確保されているまち

- 最先端の技術を先んじて実用化することで、住民の方々の安全・安心を確保し、住みやすいまちを実現。(最先端技術による鳥獣対策、買物環境、公共交通、防犯・防災対策 等)

(2) 活気あふれるまち

- 最先端の技術が町内で実証されていくことで、新たな知識・成果が創造され、活気あふれるまちに。(先端技術産業の集積、優秀な人材の輩出、新しい農業・なりわいの創出)

(3) 様々な人が町外から訪れるまち

- 研究者や教育旅行・観光等により、様々な方々が浪江町を訪問。交流が生まれることで、浪江町の魅力が町外の方々を通じて再発信されていく好循環を形成。(ロボットテストフィールドへの視察・教育旅行、被災学習・被災経験の伝達、国際的な交流・発信機会の拡大)

Ⅱ. 浪江町が目指す「4つのチャレンジ」

○ 将来ビジョンの実現に向けて、以下の「4つのチャレンジ」を具体化させていくため、関係者間で議論・検討を開始していく。

1. 「安全・安心」チャレンジ（暮らしの「安全・安心」を確保）

- (1) **鳥獣対策の推進**： 従来型の手法と、ドローンを活用した新たな取組（センサーによる位置情報の把握、ドローンによる追い払い技術等）の融合による、有害鳥獣対策実証試験の実施
- (2) **防災・防犯の強化**： 地域防災と自動走行ロボット・ドローン等を連携させ、防災・防犯体制の構築
- (3) **便利で安心な生活関連サービスの提供**
 - ① **公共交通の確保**： 周辺市町村と連携し、公共交通機関の自動走行化を推進。
自動走行技術を市民生活へ定着させ、帰還した住民の移動手段を確保
 - ② **買物環境の確保**： ドローンによる食品・医薬品等の配送を実証し、買物環境の利便性・生活の安心を確保
- (4) **森林や河川等の保全・再生対策**： 森林や河川等の監視・状況把握、住民への「見える化」を推進

2. 「エネルギー地産地消」チャレンジ（「エネルギーの地産地消」を住民生活の中に定着させる）

- (1) **スマートコミュニティの構築**： 道の駅、役場、災害公営住宅等を中心としたスマートコミュニティを構築
- (2) **水素エネルギーを活用したまちづくりの展開**： エネファーム等の導入を端緒に、水素エネルギーの活用を推進
- (3) **森林資源を活用したまちづくりの展開**： 里山再生モデル事業・木質バイオマス活用の推進
- (4) **スマートコミュニティの形成を国内外へ発信**

3. 「新たなまちづくり」チャレンジ（住民減少に負けない「新たなまちづくり」を、住民や周辺市町村と共に実現）

- (1) **新しい農業の実現**： 町内で営農再開を志す農業者の方々に対するベンチャー企業等によるコンサルティング、IT技術を活用した新しい農業のスタイルの構築と新しい農業を担う人材育成プログラムの検討
- (2) **便利で安心な生活関連サービスの提供【再掲】** ① **公共交通の確保【再掲】** ② **買物環境の確保【再掲】**
- (3) **水中ロボット技術の活用**： 水中調査ロボット等の市場把握
- (4) **人材育成・人材輩出**： 町内でドローンの操縦技術の研修・競技大会やロボット・IT技術等の人材育成を実施。
ロボット分野の優秀な人材の育成・輩出と多様な人材の呼び込み
- (5) **ロボット分野の新産業・雇用創出**： 滑走路周辺地域に産業団地を整備、新産業・雇用を創出

4. 「発信・交流」チャレンジ（国内外に浪江町を発信し、人の交流を拡大させていく）

- (1) **若者を中心とした集いの場**で、復興に向けた様々なアイデアを創出（**浪江版復興塾**）、人の交流を拡大。

Ⅲ. チャレンジの基盤となる地域

1. 「ロボットテストフィールド」の滑走路及び周辺エリア

- 南相馬市と連携しつつ、ロボットテストフィールドの滑走路及び周辺エリアの産業団地整備を推進

2. 復興祈念公園周辺エリア

- 町外から町を訪問した人々と地元住民が被災経験を共有する「交流の場」として整備

3. 中心市街地エリア

- 道の駅を中心としたスマートコミュニティの構築を行い、中心市街地においてロボットの社会実証を推進

4. 田畑・森林エリア

- 新しい農業の取組やドローンを活用した鳥獣対策・線量調査等により、里山再生を推進

Ⅳ. 会議の目指す姿と今後のフォローアップの枠組

1. 「浪江町復興ビジョン検討会議」の目指す姿

- 本構想に基づき、浪江町の「4つのチャレンジ」を実現させ、「次世代技術の実証を通じた、浪江町の新たなまちづくり」を推進していく。
- 10年後に、将来ビジョンに掲げる「安全・安心なまち」「活気あふれるまち」「様々な人が訪れるまち」を実現できるよう、国、県、周辺市町村、町、民間等の関係者が緊密に連携し、浪江町の本格復興に向けた取組を進めていく。

2. 今後のフォローアップの枠組

- 避難指示が解除された後も、「浪江町復興ビジョン検討会議」を継続して開催していく。
- 国、県、周辺市町村、町、民間等の関係者の間で、ビジョンの実現に向けた方策を具体化させつつ、取組を進めるとともに、進捗を定期的に確認していく。

「浪江町復興ビジョン検討会議」

※場所はいずれも浪江町役場二本松事務所

- 第1回：平成28年10月6日（木）13:30～15:30 テーマ：浪江町復興ビジョン検討会議の設立
出席者：高木現地对策本部長、長沢復興副大臣、馬場浪江町長
復興庁、内閣府、経済産業省、浪江町、福島県、南相馬市、福島相双復興官民合同チーム、
産業競争力懇談会（COCON）、エンルートM's（株）、（国研）産業技術総合研究所
- 第2回：平成28年12月19日（月）9:30～11:15 テーマ：中間報告書（案）
出席者：高木現地对策本部長、長沢復興副大臣、馬場浪江町長
復興庁、内閣府、経済産業省、浪江町、福島県、南相馬市、福島相双復興官民合同チーム、
エンルートM's（株）、日本無人機運行管理コンソーシアム、福島県野生動物調査専門官

「浪江町復興ビジョン検討会議 ロボット分野検討WG」

※場所は全て浪江町役場二本松事務所

- 第1回：平成28年11月9日（水）13:00～16:00 テーマ：鳥獣対策、農業、人材育成、水中ロボット
ゲストスピーカー：エンルートM's（株）、（一社）大日本猟友会、（株）スカイシーカー、DJI JAPAN（株）、
ヤマハ発動機（株）、（株）スペースワン、（国研）海洋研究開発機構
- 第2回：平成28年11月30日（水）13:00～16:00 テーマ：自動走行、物流
ゲストスピーカー：経済産業省、ロボットタクシー（株）、楽天（株）、MIKAWAYA21（株）
- 第3回：平成28年12月2日（金）13:00～16:00 テーマ：農業
ゲストスピーカー：（株）イノフィス、井関農機（株）、福島県、ドローン・ジャパン（株）、ベジタリア（株）
- 第4回：平成28年12月12日（月）13:00～15:30 テーマ：発信・交流拡大
ゲストスピーカー：福島ガイナックス（株）、（株）スペースワン、徳島県那賀町、（株）電通東日本

「浪江町復興ビジョン検討会議 水素エネルギー分野検討WG」

- 第1回：平成28年11月1日（火）東京ガス（株）（千住）、（株）東芝（府中）視察
- 第2回：平成28年12月12日（月）15:30～17:00 於：浪江町役場二本松事務所
ゲストスピーカー：（株）東芝、本田技研工業（株）、国際航業（株）